粘土	cl	cl	紫 0.1			青 0.2		流水部の幅が図上で0.4以上である場合は、上の記号を用い、0.4未満である場合は、下の記号を用いる。
変化のあつた河身			青 0.2					
			青 0.4			青 0.4		

備考

1　区分の欄、記号の欄及び記号の表示の方法の欄における0.05、0.1、1.0等の数字は、それぞれ0.05ミリメートル、0.1ミリメートル、1.0ミリメートル等を表示するものとする。

2　記号のうちの斜線は、図郭の下辺に45度の角度を保つものとし、横線は、図郭の下辺に平行を保ち、縦線は、図郭の下辺に垂直を保つものとする。

3　斜線のうち右斜線とは、右上から左下へ引いた斜線をいい、左斜線とは、左上から右下へ引いた斜線をいう。

4　台地については、更新世に形成されたものは更新世段丘の記号を、完新世に形成されたものは完新世段丘の記号を併せて表示するものとする。

5　岩石台地又は砂礫台地については、上位の高さのものから下位の高さのものへそれぞれRtⅠ$^{+}$、RtⅠ、RtⅡ$^{+}$、RtⅡ、RtⅢ$^{+}$、RtⅢ又はGtⅠ$^{+}$、GtⅠ、GtⅡ$^{+}$、GtⅡ、GtⅢ$^{+}$、GtⅢの順に区分するものとする。

6　自然地形分類予察図及び自然地形分類図においては、切土地、盛土地、切り盛り平坦地、埋立地、干拓地、その他の人工改変地及び改変中の地域の区分を除くものとする。

別表第六

区　　分	整飾事項の表示の方法
表題	
書体	直立等線体左横書
字大	５ミリメートル
字隔	２ミリメートル
色	黒
位置	図郭の上辺から上へ2.5センチメートル離して上辺中央に記入する。
図名	
書体	直立等線体左横書
字大	８ミリメートル
字隔	４ミリメートル
色	黒
位置	図郭の上辺から上へ１センチメートル離して上辺中央に記入する。
調査年月	
書体	直立等線体縦書
字大	３ミリメートル
字隔	１ミリメートル
色	黒
位置	図郭の左辺から左へ５ミリメートル、上辺から１センチメートル下に記入する。
作成機関名	
書体	直立等線体縦書
字大	３ミリメートル
字隔	１ミリメートル
色	黒
位置	図郭の左辺から左へ５ミリメートル、下辺から１センチメートル上に記入する。

別表第七

区　　分	現地踏査の着眼点
盛土地	厚さ
干拓地	堤防の有無、湿潤の程度
改変中の地域	人工改変の状況、人工改変の完了の予定時期
岩石台地	被覆物質の状況、比高
砂礫台地	堆積物質の状況、比高
石灰岩台地	カルスト地形の種類及び配列状況、石灰洞の有無、台地の起伏状況、石灰採取の状況
火山灰台地	堆積物質の状況、崩壊状況、地下水の状況、腐植の有無
溶岩台地	比高、厚さ
扇状地 谷底低地 氾濫原低地 三角州	堆積物質の状況、河川及び地下水の状況
自然堤防 旧河道	堆積物質の状況、比高